

教育実践コラボレーション・センター企画  
第73回 「知的コラボ」の会

「美術館をひらく」ことの内在的困難  
— 学芸員のイメージに着目して

概要：

「美術館はひらかれたものである」という理念は広く共有される一方、「ひらく」という状態の認識は一様とはいえず、ひらかれた美術館を実感できる人はどれほどだろうか。本発表は、市民・ボランティア・学芸員のあいだに存在する学芸員イメージの差異に着目し、それらの認識のズレがいかにして「美術館をひらく」という理念の実践を困難にするのかを検討するものである。

【日時】 2026年2月17日(火) 15:00～16:30

【場所】 教育学部本館 第1会議室 / オンライン  
(ハイブリッド開催)

【講師】 立花 由美子 講師 (静岡大学)

【コーディネーター】

奥村 旅人 講師 (教育社会学講座)

- 対象：京都大学の教職員・学生、教職員の紹介者
- 参加希望の方は下記のフォームからお申し込みください。  
※資料準備の都合上、事前申込をお願いします。

締切：2月15日(日)

<https://forms.gle/5JsK1Xhg8XcZ4r4ZA>



学生の参加も歓迎します。お気軽にご参加ください

お問い合わせ等は次のメールアドレスまでお知らせください。  
collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp